

製品安全データシート

【1】化学物質等及び会社情報

製品名 コテライザー専用ガス SK-95
会社名 株式会社 エンジン
住所 〒537-0011 大阪市東成区東今里 2-8-9
担当部門 資材部
電話番号 06-6974-0028
FAX 番号 06-6974-5661
メールアドレス maidomaido@engineer.jp

【2】危険有害性の要約

GHS分類

エアゾール 区分1
特定標的臓器特性（単回暴露） 区分1（循環器系）
区分3（麻酔作用）

※上記以外の項目は「区分に該当しない」、「分類できない」

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：極めて可燃性の高いエアゾール
高圧容器：熱すると破裂のおそれ
循環器系の障害
眠気又はめまいのおそれ

注意書き

安全対策 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
ガス、スプレーの吸入はしないこと。
応急措置 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
保管 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
廃棄 廃棄する際は、中身を使い切ってから、火気のない戸外でガスを完全に抜いてから、
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して下さい。

【3】組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分及び含有量

化学名又は一般名	重量%	CAS No.	官報公示 整理番号	PRTR 法
プロパン	1~10%	74-98-6	(2)-3	非該当
ノルマルブタン	90~99%	106-97-8	(2)-4	非該当
イソブタン		75-28-5		

【4】応急措置

目に入った場合： 清浄な水で十分洗浄する。
皮膚に付着した場合： 凍傷の手当を行う。
吸入した場合： 大量吸入の場合は、酸素欠乏の措置を行う。必要に応じて医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合： 吸入した場合もしくは皮膚に付着した場合に準ずる。

【5】火災時の措置

適切な消火剤： 粉末、二酸化炭素
使ってはならない消火剤： 棒状注水
特有の危険有害性： 初期消火には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。
大規模火災には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。
周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、
容器及び周辺に散水し冷却する。
消火を行う者の保護： 消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。

【6】漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：
風下の人を退避させ、付近の火気に十分注意するとともに、通風等により換気を良く行う。大量に漏れた場合は近所の人を退避させ、漏洩した場所の周辺への人の立ち入りを禁止する。必要があれば、呼吸用保護具を着用する。
環境に対する注意事項： 特になし
封じ込め及び浄化の方法及び機材：
危険を伴わず実施できるときは、容器の漏洩部を塞いで漏れを止める。容器からの漏れが止まらない時は、解放された危険性のない場所に運び出し放出する。

【7】取扱い及び保管上の注意

取扱い： 火気、衝撃火花などによる着火源を生じないように注意する。吸入を防ぎ、眼、皮膚との接触を避ける。必要に応じて保護具を着用し、換気の良い場所で風上から作業をする。
密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。
保管： 換気の良い冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料： 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

【8】暴露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない。
許容濃度： 日本産業衛生学会： ノルマルブタン 500ppm（注1） イソブタン 500ppm（注1）
米国産業衛生協議会： ノルマルブタン 1000ppm（注2） イソブタン 1000ppm（注2）
（注1）1日のばく露平均濃度がこの値を超えてはならない。
（注2）いかなる15分間のばく露濃度の平均値もこの値を超えてはならない。
（STEL：短時間ばく露限界値）
設備対策： 室内での取り扱いの場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼装置を設けその位置を明確に表示する。
保護具： 呼吸用保護具、保護眼鏡、保護手袋を使用する。

【9】物理的および化学的性質

外観： 無色透明・ガス状
臭い： 無臭
可燃性： 可燃性ガス
pH： データなし
融点・凝固点： -189.7℃（プロパン）
沸点： -42℃（プロパン）
引火点： -104.4℃（プロパン）

燃焼範囲（爆発範囲）： 2.1～9.5%（プロパン）
蒸気圧 at20℃： 0.74MPa

【10】安定性及び反応性

反応性と安定性： 通常状態では安定
危険有害反応可能性： 強酸化剤、アセチレン、ハロゲン、窒素酸化剤と反応する。
避けるべき条件： 燃焼（爆発）範囲内にあって着火源があると、燃焼・爆発するのでその条件を避ける。
混触危険物質： 強酸化剤
危険有害な分解生成物： 燃焼するとき十分な空気が供給されないと不完全燃焼し、有害な一酸化炭素が発生する。

【11】有害性情報

急性毒性： データなし
皮膚腐食性／刺激性： データなし
眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性： データなし
呼吸器感作性又は
皮膚感作性： データなし
生殖細胞変異原性： データなし
発がん性： データなし
生殖毒性： データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：
ヒトが大量吸入した場合、循環器系の障害が示唆される。（イブタンの情報を記載）
ラットでの麻酔作用の報告がある。（イブタンの情報を記載）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： データなし
誤えん有害性： データなし

【12】環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）： 区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分に該当しない
オゾン層への有害性： 情報なし
生態毒性： 情報なし
残留性・分解性： 情報なし
生態蓄積性： 情報なし
土壤中の移動性： 情報なし

【13】廃棄上の注意

中身を完全に使いきってから、火気のない屋外で噴射音が完全に消えるまで放置し、ガスを完全に抜いてから、都道府県ごとの規制に従い廃棄すること。

【14】輸送上の注意

国連番号： 1950
国連分類： 2.1（エアゾールとして）
陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等の定めるところに従うこと。
海上輸送： 船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送： 航空法の定めるところに従うこと。

【15】適用法令

高圧ガス保安法： エアゾール
消防法： 消防法第9条の3
液化石油ガスを同一場所において300kg以上貯蔵し、又は取り扱う場合は、消防機関への届出が必要。
PRTR法： 非該当

労働安全衛生法：	名称等を容器に表示すべき有害物（法第57条） 名称等を通知すべき有害物（法第57条第2項） 政令で定める物及び通知対象物について事業者が行うべき調査等（法57条の三） 危険物・可燃性のガス（施行令別表第1第5号）
有機溶剤中毒予防規則：	非該当
船舶安全法：	危規則第3条危険物 高圧ガス
航空法：	施行規則第12条危険物 高圧ガス
輸出貿易管理令：	非該当

【16】その他

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作製しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。

当製品の安全データシートは日本国内法規を基準に作成したものです。